

# 総務教育常任委員会資料

(令和2年6月10日)

## 【件名】

- ・令和2年3月高等学校卒業者の就職決定状況について（高等学校課）…………… 1
- ・企画展「輝いていた60's—1960年代のスポーツと生活文化—」の開催について  
（博物館）…………… 3
- ・夏の甲子園、インターハイ及び文化部の各種大会の中止に伴う代替大会の開催について  
（体育保健課、高等学校課）…………… 4

教育委員会



# 令和2年3月高等学校卒業者の就職決定状況について

令和2年6月10日  
高等学校課

## 1 厚生労働省の基準による調査

全日制高等学校、定時制高等学校、特別支援学校高等部及び米子北高等学校看護専攻科において、令和2年3月卒業予定者のうち公共職業安定所または学校を通して求職している者のみを対象とした調査。

## 2 求職者の状況

- ・求職者数は1,087人で、前年同期に比べ5.7%(66人)の減少。
- ・卒業予定者に占める求職者の割合(就職希望率)は22.0%で、前年同期に比べ0.8ポイント下回る。

年 月	卒業予定者数(人)			求職者数(人)			就職希望率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
令和2年3月末	4,934	2,483	2,451	1,087	667	420	22.0	26.9	17.1
平成31年3月末	5,064	2,531	2,533	1,153	680	473	22.8	26.9	18.7

- ・県内就職を希望する求職者は855人で、前年同期に比べ6.8%(62人)の減少。
- ・求職者全数に占める県内就職を希望する求職者の割合は78.7%で、前年同期に比べ0.8ポイント下回る。

年 月	県内就職を希望する求職者数(人)				県内就職希望率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
令和2年3月末	855	328	150	377	78.7	86.3	75.4	74.2
平成31年3月末	917	331	172	414	79.5	87.8	75.4	75.5

## 【参考】求職者数(県内・県外)の推移

年 月	求職者数(人)			求職者の構成比(%)	
	計	県内	県外	県内	県外
令和2年3月末	1,087	855	232	78.7	21.3
平成31年3月末	1,153	917	236	79.5	20.5
平成30年3月末	1,181	946	235	80.1	19.9
平成29年3月末	1,139	916	223	80.4	19.6

## 3 求人状況

- ・県内求人数は2,243人で、前年同期に比べ3.4%(78人)減少。
- ・県内求人倍率は2.06倍で、前年同期に比べ0.05ポイント上回る。

年 月	県内求人数(人)	求人倍率(倍)
令和2年3月末	2,243	2.06
平成31年3月末	2,321	2.01

\*求人倍率は、県内求人数を求職者全数で割ったもの。

## 4 就職内定者の状況

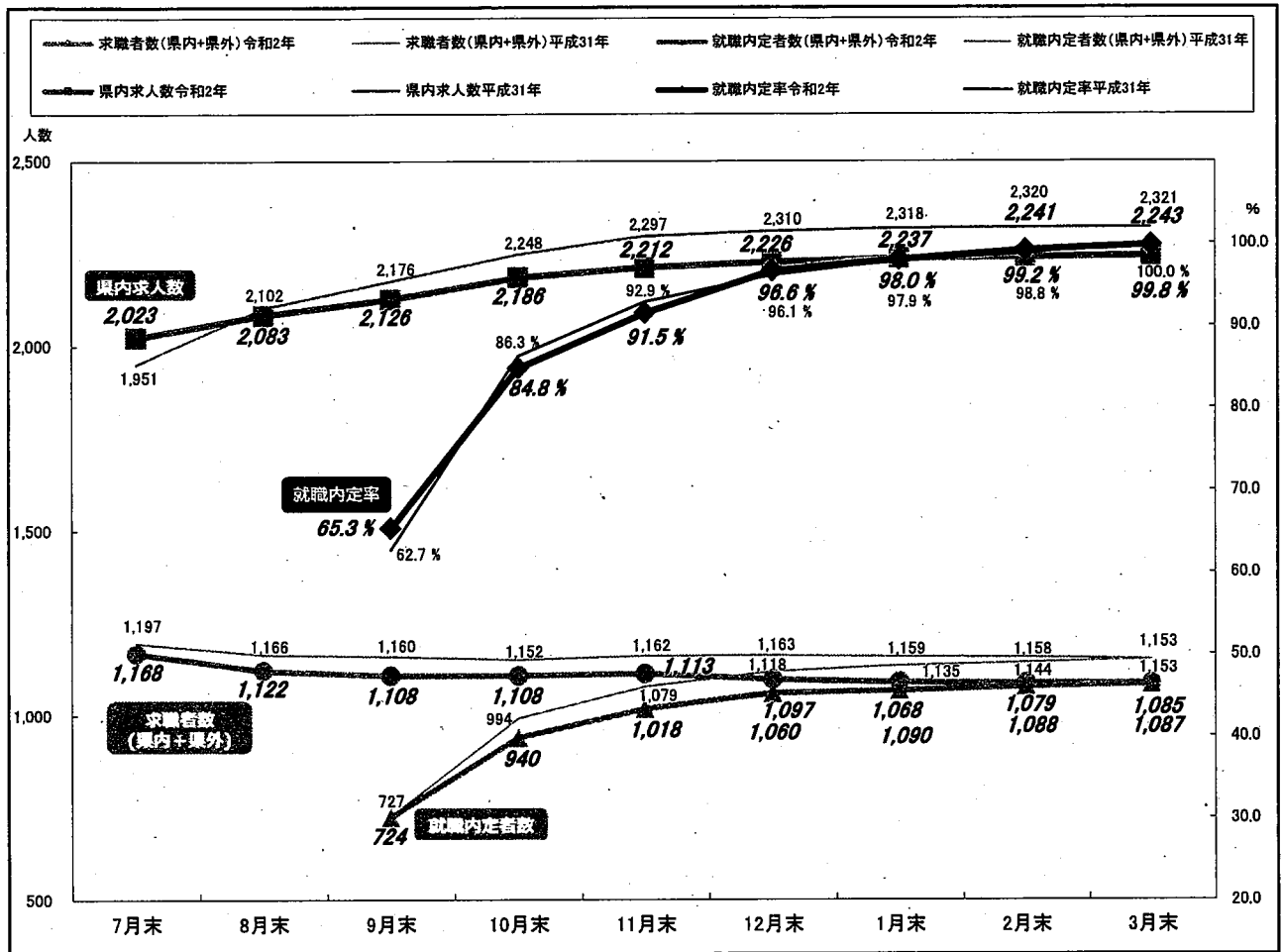
- ・就職内定者数は1,085人で、前年同期に比べ5.9%(68人)の減少。

年 月	就職内定者数(人)			
	計	東部	中部	西部
令和2年3月末	1,085	379	198	508
平成31年3月末	1,153	377	228	548

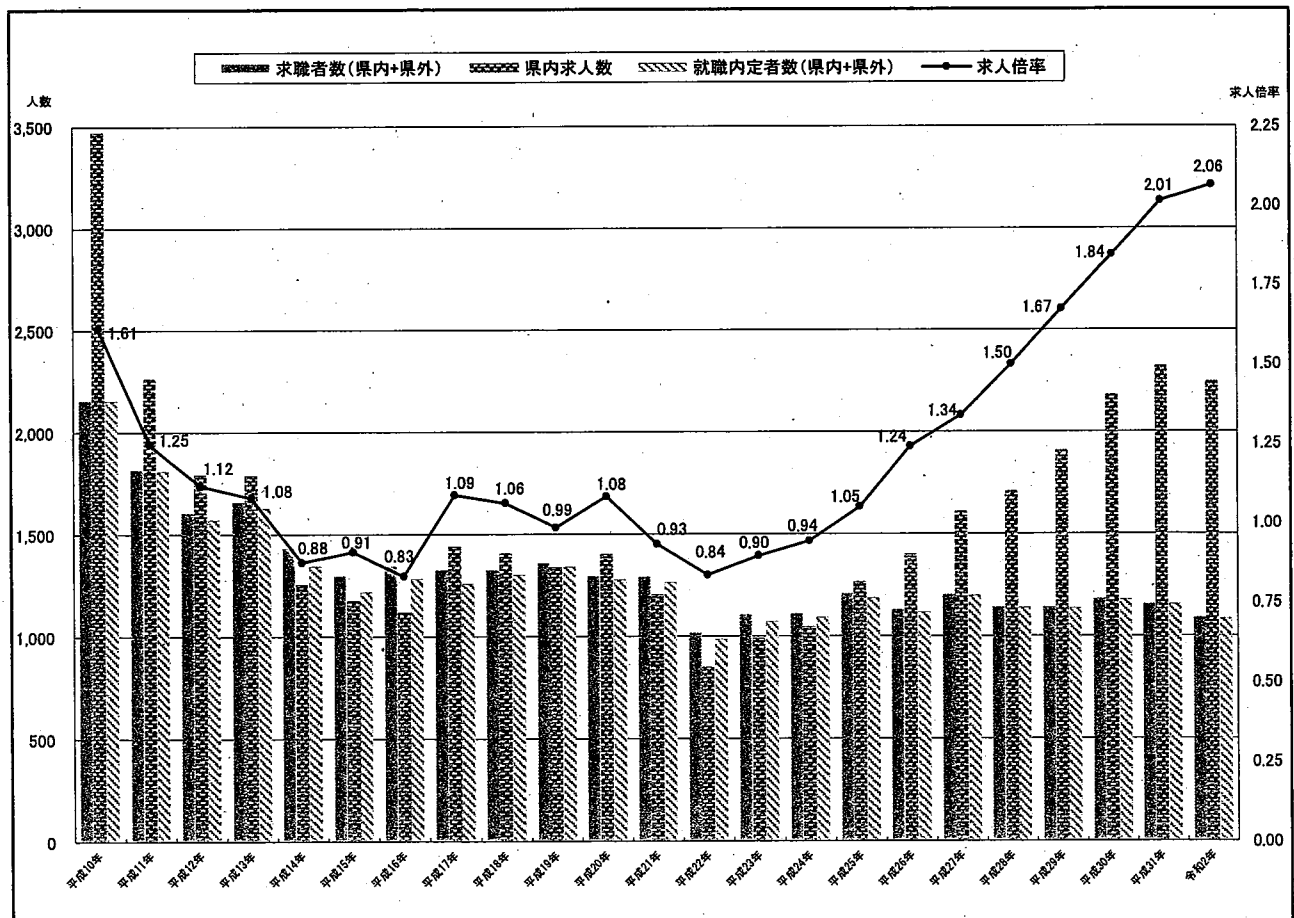
- ・就職内定率は99.8%で、前年同期に比べ0.2ポイント下回る。
- ・県内就職を希望する求職者の就職内定率は99.8%で、前年同期に比べ0.2ポイント下回る。

年 月	県内・県外別、地域別就職内定率(%)											
	計	県内		東部		中部		県外		西部		
令和2年3月末	99.8	99.8	100.0	99.7	99.7	100.0	99.5	99.3	100.0	100.0	100.0	
平成31年3月末	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

### 5 令和2年3月新規高等学校卒業予定者の就職内定率等の推移



### 6 平成10年以降の3月末における求職者数、県内求人数、就職内定者数、求人倍率の推移



以上のデータは、鳥取労働局職業安定部による

## 企画展「輝いていた60's—1960年代のスポーツと生活文化—」の開催 について

令和2年6月10日  
博 物 館

「東京オリンピック2020」を契機として、日本の戦後復興と国際社会への復帰を象徴する国家的イベントとなった前回の東京オリンピックにまつわるエピソードや人物・生活資料等の紹介を通じて、我が国と鳥取県の1960年代のスポーツ、出来事や風俗を振り返る試みを行います。

新型コロナウイルス感染予防対応のため、東京・大阪等の博物館等からの借用展示はやむなく断念しましたが、館蔵資料と県内コレクターの収集品、日本有数の昭和家電コレクターとして知られる富永潤氏(昭和ハウス館長・三重県伊賀市)のコレクションで展覧会を構成します。

### 1 会期

令和2年6月6日(土)から同年7月5日(日)まで

### 2 会場

鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

### 3 主催

鳥取県立博物館

### 4 協力

公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

### 5 後援

朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSKさんいん中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局

### 6 観覧料

500円(前売・20名以上の団体料金300円)

(大学生以下の方、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等およびその介護者等は無料)

### 7 関連行事

6月7日(日)、7月5日(日)	歴史講座「昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座」
6月14日(日)	講演会「鳥取県のオリンピック—陸上競技選手を中心に—」
6月21日(日)	講演会「オリンピックがくれたもの」
6月28日(日)	歴史講座「60年代の鳥取市街地をぶらり」

# 夏の甲子園、インターハイ及び文化部の各種大会の中止に伴う 代替大会の開催について

令和2年6月10日  
体育保健課  
高等学校課

新型コロナウイルス感染症の影響により高等学校の各種スポーツ・文化大会が中止となったことから、高校生の部活動での挑戦や鍛錬の成果を披露する舞台として本県独自の大会を鳥取県高等学校野球連盟、鳥取県高等学校体育連盟、鳥取県高等学校文化連盟が開催する。

また、県及び県教育委員会は、開催経費の一部や大会のインターネットライブ配信経費の支援、及び横断幕の作成など、各連盟と連携しながら、高校生の成果発表舞台を支援する。

## 1 冠名について

鳥取県高等学校野球連盟、鳥取県高等学校体育連盟、鳥取県高等学校文化連盟が主催する代替大会共通の冠名を以下のとおりとする。

わかとり夢の特別大会 ～「2020夏 仲間とともに、それぞれの夢への挑戦」～

## 2 県高野連の状況について

### 【開催方針】

- ・硬式野球の試合をCATVが中継（準決勝以上は、NHKでも生中継）
- （硬式野球）
- ・期 間：7月11日から7月27日までの週休日、祝日を中心に9日間
- ・会 場：コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク野球場
- ・参加校：24校22チーム出場
- ・開会式：参加校の3年生のみが参加
- ・観 客：無観客試合とするが、ベンチ入り以外の部員、野球部顧問及び3年生の保護者（一家庭2名まで）に限り応援を許可

### （軟式野球）

- ・期 間：7月11日から7月12日まで
- ・会 場：どらやきドラマチックパーク米子市民球場
- ・参加校：7校
- ・開会式：実施しない
- ・観 客：無観客とするが、保護者の入場については検討中

## 3 県高体連の状況について

### 【開催方針】

- ・集中開催ではなく、競技ごとに分散開催（6月から9月上旬の予定）
- ・県高体連が希望する競技をインターネットでライブ配信

### ＜開催：25競技＞

陸上、体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、サッカー、バドミントン、ソフトボール、相撲、柔道、ボート、レスリング、弓道、テニス、登山、自転車、ホッケー、ウェイトリフティング、ヨット、フェンシング、空手道、カヌー、ライフル射撃

### ＜開催の可否を検討中：2競技＞

ハンドボール、剣道

### ＜開催を断念：5競技ほか＞

新体操、ボクシング、ラグビーフットボール、なぎなた、アーチェリー、定通制の部  
(断念の主な理由)

- ・競技特性（対人的な競技）で相手との接触が多い
- ・練習不足からケガのリスクが高い
- ・競技チームが少ない

## 4 県高文連の状況について

### 【開催方針】

- ・集中開催ではなく、部門ごとに開催
- ・無観客または、観客を限定した場合にインターネット配信を実施

### ＜開催：6部門＞

演劇、合唱、郷土芸能、放送、囲碁、将棋

### ＜開催を断念：13部門＞

吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、マーチング・バンド、美術・工芸  
書道、写真、弁論、かるた、新聞、文芸、まんが

(断念の理由)

- ・密を避けての開催が困難
- ・3年生が既に引退した

## 5 大会開催に当たっての主な感染予防対策について

- ・県教育委員会で作成した「大会への参加及び大会実施におけるガイドライン」を元に、大会ごとに具体的な感染予防対策を作成するとともに、その対策を保護者へ提示し、参加について同意を得る。
- ・大会の2週間前から検温結果及び体調について記録し体調管理を行い、体調不良や発熱等の風邪の症状がある者は参加できないこととする。
- ・屋内競技については、密閉空間とならないよう大会主催者主導で1時間ごとに5～10分程度換気を行う。
- ・観客については、選手の保護者又は家族のみとし、事前申請等により観客を限定し連絡先等を把握し、不特定多数が入場することがないよう観客を管理する。
- ・応援については、集団での応援、発声による応援などを禁止する。

# 県高校総体中止に伴う代替試合開催予定一覧

体育保健課

## 開催の競技

6月9日(火)時点の予定。今後変更の可能性あり

種目	開催時期	会場	開催方法又は開催可否(理由)
1 自転車	6月7日	倉吉自転車競技場	トラックのみ開催。 会場を改修するため、特例的に早期に開催。
2 バレーボール	6月13日(東部) 6月14日(西部)	各学校(会場未定)	各地区で開催。中部地区は、合同練習会として開催。
3 サッカー	6月13日・14日・20日	パードスタジアム ドラドラパーク東山球技場 各学校	地区大会で開催。中部地区は、7月中開催。
4 ボート	6月13日	鳥取市湖山池ボートコース	レース数を減らし、1日に短縮して開催。
5 テニス	6月13日 予備日21日	コカ・コーラボトラーズジャパン スポーツパークテニス場	3年生のみの個人戦で開催。ただし、ダブルスで3年生のペアとして1名のみ1、2年生の参加を認める。
6 登山	6月13日	大山	登山行動のみ、1日に短縮して開催。
7 カヌー	6月13日	東郷湖カヌーコース	競技団体の大会と兼ねて開催。
8 卓球	6月14日	倉吉体育文化会館	3年生のみで開催。
9 ソフトテニス	6月20日・21日	南谷テニスコート他	6月13日中部地区予選(南谷)西部地区予選(東山)、14日東部地区予選(布勢)を個人戦のみ開催し、規模を縮小して県大会(個人戦、団体戦)を開催。
10 フェンシング	6月20日・21日	鳥取工業高校	従来の方で開催。
11 バスケットボール	5月下旬～6月	各地区会場(会場未定)	中央競技団体方針で、6月中は公認審判員派遣不可のため大会ではなく、合同練習として各地区で開催。
12 レスリング	6月14日	倉吉総合産業高校	中央競技団体作成のトレーニングガイドラインにより複数での接触を伴った練習が本県では可能であるため、合同練習会として開催。
13 ウェイトリフティング	6月20日	各校練習場	各校で記録会を行い、記録を集約して順位を出す。
14 弓道	6月21日まで	各校練習場	各校で県総体要項通りに記録を取り、集約して順位を出す。
15 相撲	7月4日	鳥取城北高校	従来どおりの試合形式で開催。
16 陸上競技	7月4日・5日	コカ・コーラボトラーズジャパン スポーツパーク陸上競技場	2日間の日程に短縮して開催。
17 水泳	7月11日・12日	県営東山水泳場	従来どおりの試合形式で開催。
18 体操	7月12日か18日	米子産業体育館	開催の方向で検討中。方式は未定。
19 バドミントン	7月11日・12日	鳥取産業体育館	3年生を中心とした団体戦のみで開催。
20 柔道	8月1日	鳥取市武道館	開催は可能となったが、県内で感染者が確認された場合、中止となる。
21 ソフトボール	8月1日・2日 予備日3日	倉吉東高校 倉吉総合産業高校	開催方法や内容は検討中。
22 ライフル射撃	8月9日	県営ライフル射撃場	従来の方で開催。
23 空手道	8月上旬	西部地区	練習の状況を見て、従来の方で開催。
24 ホッケー	-	八頭高校ホッケー場	八頭高校のみのため、紅白戦で開催。
25 ヨット	9月5日・6日	境港公共マリーナ	従来どおりの試合形式で開催。

## 実施可否検討中の競技

種目	開催時期	会場	開催方法又は開催可否(理由)
1 ハンドボール	検討中	検討中	密となる場面が競技の特性上多くあるため、感染防止対策や3年生の状況を含めて可否について検討中。
2 剣道	検討中	検討中	中央競技団体から活動制限が解除となれば、開催したい。

## 開催を断念した競技

種目	開催時期	会場	開催方法又は開催可否(理由)
1 新体操	-	-	すでに次の大会(新人戦)に向けて練習開始。大会ではなく、各学校で演技会として開催することも調整中。
2 ラグビーフットボール	-	-	花園があるため、開催しない。
3 ボクシング	-	-	中央競技団体より大会参加について十分な練習(概ね2ヶ月以上)ができていない場合は、大会参加不可となっているため開催が難しい。
4 アーチERY	-	-	大会が中止になり、練習できない状況が続いたため、開催が難しい。
5 なぎなた	-	-	密となる場面が競技の特性上あるため、安全性の確保の観点から、開催が難しい。
6 定通制	-	-	十分な練習ができていないため、開催が難しい。